

畜産 IoT の研修会を開催

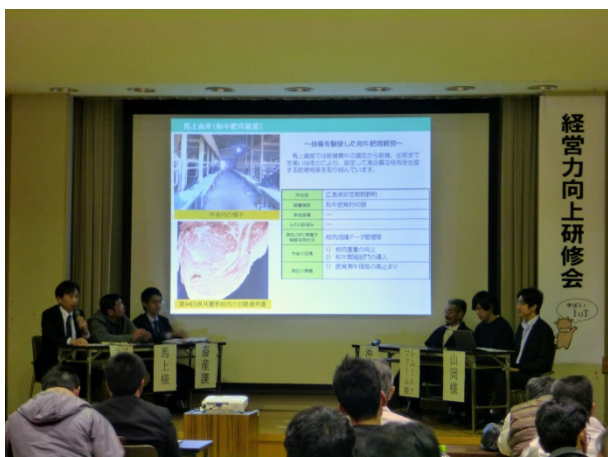
【平成 30 年 11 月 29 日掲載】

当所と西部畜産事務所は、11 月 16 日に、農業技術センターで「畜産 IoT 研修会」を開催し、畜産農家や農業高校の生徒、行政関係者など約 40 名の参加がありました。

この研修会は畜産農家に IoT 技術を知ってもらうことを目的とし、機器を販売する企業 4 社から、「牛の行動を 24 時間監視し、発情や怪我・病気を早期発見する機器」や「繁殖スケジュールなど牛群を管理する機器」などが紹介されました。

畜産農家がパネラーとなり、紹介した技術の感想や今後の活用方法などについて活発に意見交換しました。畜産農家からは「便利だとは感じるがコストとのバランスが気になる」、「機械に頼りすぎて牛を見る目が衰える」といった懸念の声がありました。一方で、新規就農者からは「自分はまだ牛を見る目がなくデータによる監視は非常に便利だと思う」、「積極的に導入したい」という積極的な意見もありました。また、すでに IoT 技術を導入している農家からは、「非常に便利で役に立っている」、「今以上の精度になることを期待している」という前向きな意見を聞くことができました。

当所は、畜産事務所などの関係機関と連携して、IoT 技術に関する正確な情報を畜産農家に提供し、併せて経営状況や目標に応じた IoT 技術の導入ができるように支援していきます。



活発な議論が交わされた
パネルディスカッション



最新の IoT 機器が出展された
企業ブース